

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公開番号】特開2008-11570(P2008-11570A)

【公開日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-002

【出願番号】特願2007-239951(P2007-239951)

【国際特許分類】

H 0 4 B 7/10 (2006.01)

H 0 4 B 7/26 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/10 A

H 0 4 B 7/26 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月9日(2008.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信システムに使用されるための無線通信ノードであって、
複数の指向性ビームを生成するためのスマートアンテナと、
近くの複数のノードへメッセージを送信するのに使用されるビーム構成情報及び近くの
ノードのリストを記憶するためのメモリと、
バックホール・ネットワークを確立するために近くのノードへメッセージを送信するた
めの特定の指向性ビームを選択するように構成されたコントローラと、
を含むことを特徴とする無線通信ノード。

【請求項 2】

コア・ネットワークへの有線のバックホール接続をさらに含むことを特徴とする請求項
1 に記載の無線通信ノード。

【請求項 3】

前記ノードは、無線バックホール接続により近隣のノードへバックホール情報を送信し
受信するように構成されていて、一方、前記無線通信ノードは前記コア・ネットワークへ
バックホール情報を送信し受信することを特徴とする請求項 1 に記載の無線通信ノード。

【請求項 4】

少なくとも 1 つの近隣のノードへの有線バックホール接続をさらに含むことを特徴とす
る請求項 1 に記載の無線通信ノード。

【請求項 5】

生成された複数の指向性ビームが所定の位置の組から選択されていることを特徴とする
請求項 1 に記載の無線通信ノード。

【請求項 6】

生成された複数の指向性ビームがダイナミックに選択されて実時間で指向されることを
特徴とする請求項 1 に記載の無線通信ノード。

【請求項 7】

指向性ビームが、干渉、データスループット及びシステムキャパシティの観点から最良
の性能を提供するために選択されていることを特徴とする請求項 1 に記載の無線通信ノー

ド。

【請求項 8】

前記ノードは、有線バックホール接続を介してバックホール情報を送信するように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の無線通信ノード。

【請求項 9】

無線メッシュ・ネットワークで使用するように構成された請求項 1 に記載の無線通信ノード。

【請求項 10】

セルラー・ネットワークで使用するように構成された請求項 1 に記載の無線通信ノード。